

授業科目	地域保健学 I				単位	2		
履 修	選択	関連資格	養教一種免		ナンバリング	WE21509J		
開講年次	3 年	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP3-2 DP4-2 DP5-1 DP5-2			
担当教員	樋口 善之							
授業概要	<p>地域保健とは、地域住民の健康の保持増進や公衆衛生の向上のため諸活動であり、多様な施策が関連する。本講義では学校保健との関連性を踏まえながら、養護教諭として理解しておくべき基本的事項として下記を中心に解説する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域保健の概念・意義とその展開方法について解説する。 2. 地域保健の仕組みとこれからの社会で地域保健に期待される役割について解説する。 3. 健康日本 21 および健やか親子 21 等の国レベルの保健施策について解説する。 4. 健康危機管理として災害時の地域保健活動について解説する。 5. 地域診断の方法について解説する。 							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域保健の意義と重要性について説明できる。 2. 地域保健活動の仕組み、および行政機構におけるそれぞれの役割について説明できる。 3. 健康日本 21 や健やか親子 21 等の保健施策について説明できる。 4. 災害時の地域保健の役割など、地域住民の健康危機管理について説明できる。 5. 地域診断の方法について説明できる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	0	20	30	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	30						30	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	5		5				10	
思考・判断 (DP2-2)	5		5				10	
関心・意欲 (DP3-1)	5			5			10	
関心・意欲 (DP3-2)	5		5	5			15	
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)				15			15	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)				5			5	
技能・表現 (DP5-2)			5				5	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
上記に掲げた行動目標の全てを完全に達成し、さらに学校保健と地域保健との関わりについての自分の意見を具体的に述べる ことができる。				上記に掲げた行動目標について、講義で使用了資料等を参照しながら相応に説明することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	オリエンテーション ・講義の全体像と進め方について説明する。	講義	シラバスを読んでおくこと。	30
2	ヘルスプロモーションと保健医療施策 ・ヘルスプロモーションの考え方と我が国の保健医療施策の動向について解説する。	講義	前回の復習をしておくこと。	45
3	地域保健の歴史と関係法規 ・これまでの地域保健活動の歴史と地域保健法を中心とした関係法規について解説する。	講義	前回の復習をしておくこと。	45
4	地域保健の各機関とその活動 ・地域保健活動の内容と分掌する組織について解説する。	講義	前回の復習をしておくこと。	45
5	健康日本 21 の取り組み ・我が国の成人保健施策として健康日本 21 に取り組みについて解説する。	講義	前回の復習をしておくこと。	45
6	健やか親子 21 の取り組み ・我が国の母子保健施策として健やか親子 21 の取り組みについて解説する。	講義	前回の復習をしておくこと。	45
7	学校保健と地域保健との連携 ・学校保健と地域保健との連携の重要性と今後の展望について解説する。	講義	前回の復習をしておくこと。	45
8	健康危機管理 ・健康危機管理に関する動向について解説する。	講義	前回の復習をしておくこと。	45
9	健康格差研究 ・公衆衛生上の課題としての「格差」に着目し、その健康影響と対策について解説する。	講義	前回の復習をしておくこと。	45
10	地域保健医療計画と医療圏 ・都道府県における医療供給体制の考え方と現状について解説する。	講義	前回の復習をしておくこと。	45
11	地域連携と包括的支援 ・医療・看護・介護・福祉の協働による包括的支援について解説する。	講義	前回の復習をしておくこと。	45
12	地域診断(1) ・地域診断の考え方とその必要性について解説する。	講義	前回の復習をしておくこと。	45
13	地域診断(2) ・地域診断の方法について解説する。	講義, 演習	前回の復習をしてくること。	45
14	地域診断(3) ・地域診断の実践と地域保健活動への展開について解説する。	講義, 演習	前回の復習をしておくこと。	45
15	まとめ ・地域診断のまとめと、地域保健IIにおいて解説した内容から重要項目を整理する。	講義, 発表	地域診断のまとめと、これまでの講義内容の復習をしておくこと。	90
16				
17				
18				
19				
20				
21				

22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	公衆衛生学の履修内容をよく復習しておくこと。 また地域で展開されている種々の保健活動に関心を持ち、公共機関等に掲示されている健康づくりに関する広報などをよく観察しておくこと。			
テキスト	特になし。授業時に資料を配付する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	厚生指針 増刊 国民衛生の動向 2018/2019(厚生労働統計協会) 秋山美紀「コミュニティヘルスのある社会へ」(岩波書店) 近藤克則編著「健康の社会的決定要因」(日本公衆衛生協会) 高橋紘士, 武藤正樹(共編)「地域連携論」(オーム社)			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	公共施設や医療施設等などには体力づくりや介護予防, 栄養教室などの資料があります。「地域住民に対して、どのような健康増進／保健事業が展開されているのか」に関心を持ち、自分が住んでいる地域での実際の保健活動について情報収集をしてください。			
達成度評価に関するコメント	試験では記述式の問題(例えば、「〇〇について説明せよ」「△△についてあなたの考えを述べよ」)により理解度や思考・判断について評価する。また、平素の授業時において発言・発表の機会を設け、関心・意欲、態度について評価する。授業時に課題として指示するレポート(グループワークや地域診断等のプリントを含む)も評価に加えるので必ず提出すること。			